

平成 29 年度事業について

() 内は予算額又は契約金額

1 ユニバーサルデザインガイドライン作成等 (4,406 千円)

ユニバーサルデザインに関する基本的な考え方をはじめ、場面ごとの配慮事項、施設のユニバーサルデザイン化を行うための技術的知識及び障がい特性の理解などをまとめた職員向けのガイドライン（本冊）を策定し、職員の理解を深め、広く公開を行う。

2 屋外案内標識デザインガイドラインの策定 (15,504 千円)

区が設置する屋外案内標識について、表示内容やデザイン、設置方法等に関する統一的なルールを定めた「板橋区屋外案内標識デザインガイドライン」を策定する。

3 コミュニケーション支援機器等の活用 (95 千円)

音声同時翻訳ソフトをはじめとしたコミュニケーション支援機器を導入するとともに、他の手法についても検討し、活用を図っていく。

4 内方線付き点状ブロック整備支援 (15,800 千円)

視覚障がい者の安全を確保するため、東武東上線中板橋駅及び大山駅ホームに内方線付き点状ブロック設置することについて、区がその費用の一部を助成する。

5 板橋駅エレベーター設置 (43,000 千円)

JR 板橋駅の板橋口及び改札内にエレベーターを設置することについて、区がその費用の一部を助成する。

6 公園の整備 (972,043 千円)

地域の庭として、区民の憩いの場・緑の拠点となっている公園・緑地について、防災機能の充実やバリアフリー化を進めるとともに、ユニバーサルデザイン化の観点を踏まえて、だれもが利用できる「安心・安全」な施設を整備する。

7 ユニバーサルデザインチェックの実施及びアドバイザーの活用 (220 千円)

区の公共施設の改修時等に、その施設がユニバーサルデザインの考え方に適合しているかなどを確認することにより、検討、評価、改善を切れ目なく実行する。また、ユニバーサルデザインに係る助言・指導を担う学識経験者又は専門家を活用する。